
 **NIED** 地震防災フロンティア研究センターシンポジウム 

阪神・淡路大震災を今の災害に生かす

主催：(独)防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター
後援：公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

日時：平成 23 年 1 月 27 日 (13:00 ~ 17:00) 及び 28 日 (9:30 ~ 13:30)
会場：よみうり神戸ホール (神戸市中央区栄町通 1-2-10 読売神戸ビル 2 階)

建築家が考える 災害に強い病院とは？

川崎清氏・森崎輝行氏・宮本佳明氏による
災害に強い病院設計の発表、五十嵐太郎氏・
鵜飼卓氏による講評を行います。(1月27日)



iPad を使った阪神・淡路大震災のシミュレーション、国際的な防災の技術・知恵の紹介を行います。

諸事情により予定が変更する場合がございます。予めご了承下さい。

1月27日(木) 対象者：一般及び防災関係者

iPadを使用した参加型イベントを行います。
(iPadは当日に貸し出します。)

iPadで見る世界の防災情報

実際に防災に取り組むことで、将来の災害の被害を減少させることができますが、何をすればよいのでしょうか？開発した防災科学技術データベースでは、役に立つ世界の防災技術や防災の知恵を見ることができます。iPadを使って、世界の防災技術、知恵、活動をご覧ください。

iPadを使った広域医療の体験

阪神・淡路大震災では、被災地内病院に多数の傷病者が押し寄せました。また、近隣地域の病院は、被災地を支援すべく、多くの患者さんを受け入れました。今もう一度、この規模の地震が起こったら・・・？傷病者搬送のシミュレーションをiPadとGoogle地図で行います。

災害に強い病院設計紹介

大規模地震発生に備え、多くの災害拠点病院が災害時傷病者受け入れ訓練・搬送訓練を実施しています。しかし、病院の空間は災害時のみを想定して設計されるわけではありません。災害に強い病院の空間とはどのような空間でしょうか？現在実施されている災害訓練内容や想定シナリオを提示し、建築家（川崎清氏・森崎輝行氏・宮本佳明氏）による設計を行いました。建築家により考案された病院の発表および五十嵐太郎氏・鶴飼卓氏による講評を行います。

1月28日(金) 対象者：防災関係者及び一般 **5年間の研究成果の総括を行います。**

医療防災研究チーム、IT化防災研究チーム、国際展開研究チームの研究成果を発表します。また、各分野の専門家の講演を予定しています。

アクセス



写真展開催

地震防災フロンティア研究センターの研究者が行ってきた研究活動や成果を展示しています。(入場無料)

場所：よみうり神戸ビル1階展示スペース
開催期間：平成23年1月21日から28日

お問い合わせ

(独) 防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター
塩飽(しわく)・矢田まで
TEL：078-262-5525 E-Mail：sympo@edm.bosai.go.jp

参加申込票 Fax(078-262-5526) か、お電話 (078-262-5525) でお申し込み下さい。(参加費無料)

参加希望日	1月27日のみ	1月28日のみ	1月27日及び28日
iPadの使用希望 (1月27日に参加される方のみ)		希望する	希望しない

参加者氏名	年齢	職業	代表者連絡先
			住所：
			電話：
			Fax：
			Eメール：

参加は先着順とさせていただきます。定員になり次第受付を終了します。当日に空きがあれば、申込の有無に関わらず、ご参加頂けます。iPadは数に限りがございますので、希望の方はお早めにお申込下さい。なお、諸事情により予定を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。収集した個人情報、本シンポジウムの開催目的以外には使用致しません。